

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課
担当課長名：村山 一弥

事業名 <small>えんがるきたみ</small> 遠軽北見道路（一般国道333号） <small>いくたはら</small> 生田原道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 北海道開発局			
起終点 自： <small>ほつかいどうもんべつ</small> 北海道紋別郡遠軽町 <small>えんがるちよういくたはらみずほ</small> 生田原水穂 至： <small>ほつかいどうもんべつ</small> 北海道紋別郡遠軽町 <small>えんがるちよういくたはらあさひの</small> 生田原旭野		延長 5.7 km			
事業概要 遠軽北見道路は、遠軽町を起点とし、北見市に至る延長約60kmの地域高規格道路である。 このうち生田原道路は、広域ネットワークの拡充による地域間交流の活性化、物流の効率化等の支援を目的とした、遠軽町生田原水穂から生田原旭野に至る延長5.7kmの事業である。					
H19年度事業化	H一年度都市計画決定 (H一年度変更)	H20年度用地補償着手	H21年度工事着手		
全体事業費	約120億円	事業進捗率	約23%	供用済延長	0.0km
計画交通量	5,400台/日				
費用対効果 分析結果	B/C： (事業全体) 1.4 (残事業) 1.9	総費用： <small>(残事業)/(事業全体)</small> 87/120億円 (事業費：73/106億円) (維持管理費：14/14億円)	総便益： <small>(残事業)/(事業全体)</small> 164/164億円 (走行時間短縮便益：135/135億円) (走行経費減少便益：20/20億円) (交通事故減少便益：9.1/9.1億円)	基準年： 平成29年	
感度分析の結果 事業全体及び残事業について感度分析を実施 【事業全体】交通量：B/C=1.2~1.5(交通量±10%) 事業費：B/C=1.3~1.4(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.3~1.4(事業期間±20%) 【残事業】交通量：B/C=1.7~2.1(交通量±10%) 事業費：B/C=1.7~2.0(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.8~1.9(事業期間±20%)					
事業の効果等 事業の必要性及び効果 ①主要都市間の利便性向上 ・北見市と旭川市間の所要時間が短縮され、交通量の転換が図られるとともに、地域住民の利便性向上や地域間交流の活性化が期待される。 ②水産品の流通利便性向上 ・速達性及び定時性の高い輸送ルートが確保され、道央や道外の大消費地への水産品の流通利便性向上が期待される。 ③救急搬送の安定性向上 ・速達性及び安定性の高い搬送ルートが確保されることで、高次医療施設への救急搬送の安定性向上が期待される。 ④道路交通の安全性向上 ・交通が転換することで通過交通が減少し、事故の減少や市街地の安全性向上が期待される。 ⑤災害時の農水産品出荷ルートの確保 ・確実性の高い輸送ルートが強化されることで、道央や道外への農水産品物流における災害に強い出荷ルートが確保される。 ⑥日常生活の利便性向上 ・北見市及び遠軽町へのアクセスが向上し、地域住民の日常生活における利便性向上が期待される。 ⑦観光地への利便性向上 ・北見、網走及び知床方面へのアクセスの向上並びに都市間バスの快適性及び安全性向上が図られ、観光地への利便性向上が期待される。 ⑧CO ₂ 排出量の削減 ・自動車からのCO ₂ 排出量825(t-CO ₂ /年)の削減が期待される。					
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等： 北見市を始めとする1市2町の首長等で構成される「遠軽北見道路整備促進期成会」等から、早期整備の要望を受けている。					

知事の意見：

高速ネットワークの拡充による近隣都市間の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化や物流効率化の支援、交通事故低減による安全性の向上が図れ、道民生活の向上や経済・社会活動の活性化に寄与することから、当該事業の継続について異議はありません。

なお、事業の実施にあたっては、環境への影響を最小限にとどめ、より一層の徹底したコスト縮減を図るとともに、これまで以上に効率的・効果的な執行に努め、早期完成を図るようお願いいたします。

事業評価監視委員会の意見

当委員会に提出された再評価原案準備書の対応方針については、北海道開発局案を妥当と判断する。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成21年 3月 一般国道333号 新佐呂間トンネル開通
- ・平成21年10月 上湧別町及び旧湧別町が合併し、湧別町が誕生
- ・平成21年12月 旭川・紋別自動車道 白滝IC～旧白滝開通
- ・平成22年 3月 旭川・紋別自動車道 上川天幕～浮島IC開通
- ・平成25年 3月 北見道路 北見西IC～北見東IC開通
- ・平成27年11月 十勝オホーツク自動車道 訓子府IC～北見西IC開通
- ・平成29年 3月 旭川・紋別自動車道 丸瀬布IC～遠軽瀬戸瀨IC開通

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成21年度に工事着手して、用地進捗率約28%、事業進捗率約23%となっている。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き、早期開通に向けて事業を進める。

施設の構造や工法の変更等

切土法面対策、土配計画の見直し及び不良土対策による工法等の変更。引き続きコスト縮減に取り組んで行く。

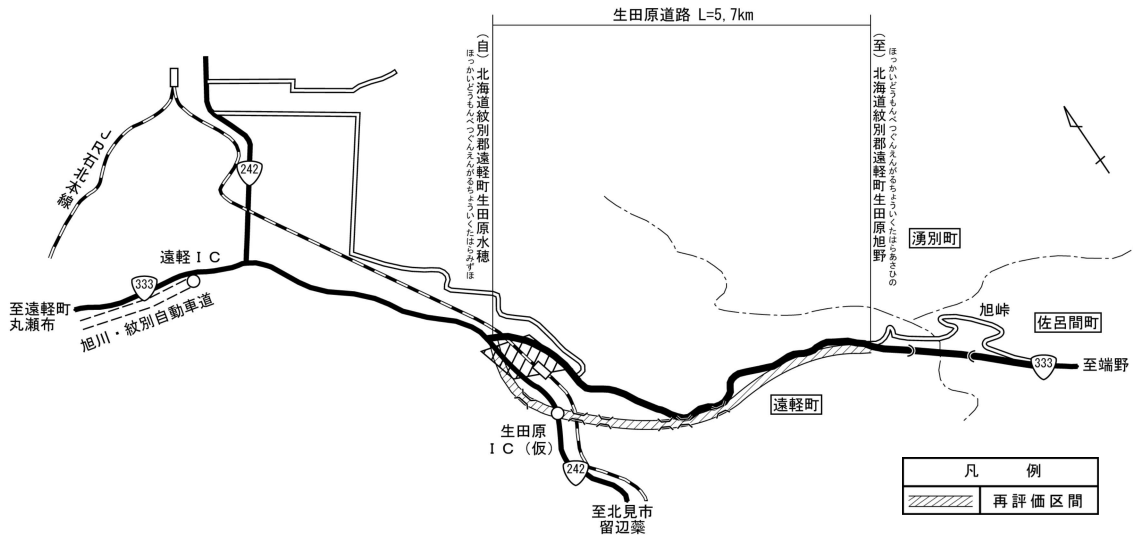
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。